

※ 2016 年度から漁海況情報は年 5 回 (春夏秋冬および年報) の発行とさせていただきます。
春号は 4 月, 夏号は 7 月, 秋号は 10 月, 冬号は 1 月ごろ, 年報は 2 月ごろの発行を予定しています。

京都府漁海況情報

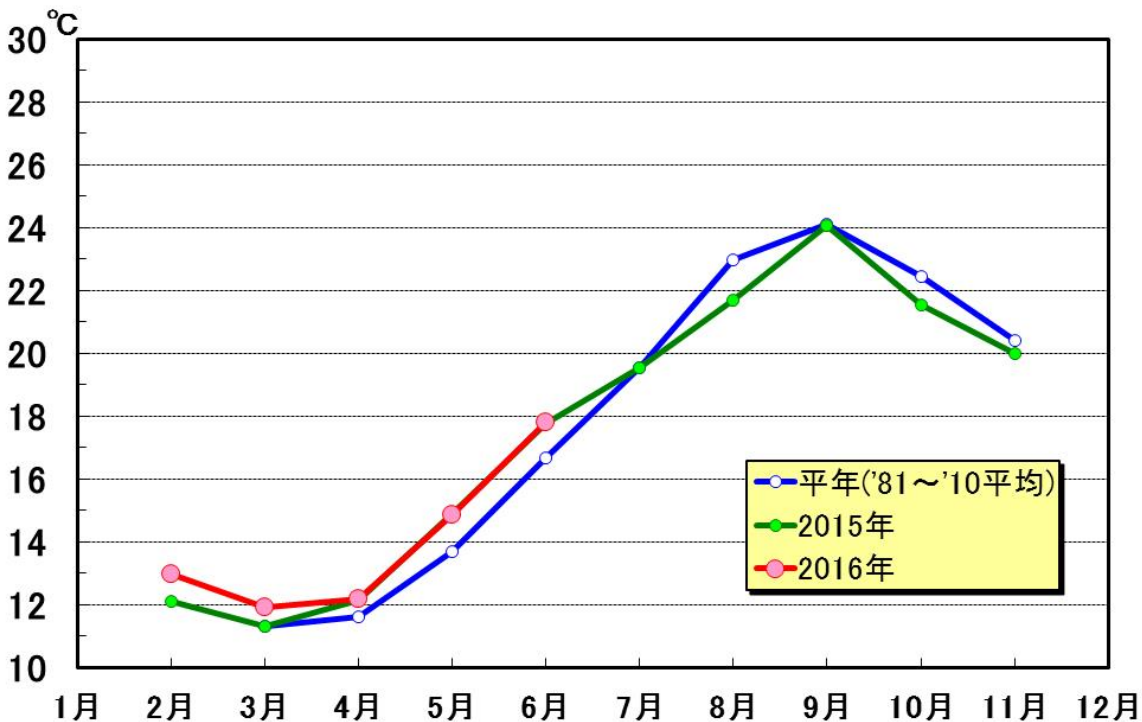
京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部
http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/
電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況

【現況】

平成 28 年 4~6 月における京都府周辺の表層水温は, 平年よりやや高め~かなり高めで推移していました。

京都府沖の表層水温 (0~50m 深平均)



京都沖水温の平年および前年との比較			
	4月	5月	6月
京都沖の表層水温	12.2 °C	14.9 °C	17.8 °C
前年比	+0.1 °C	±0 °C	+0.1 °C
平年比	+0.6 °C (やや高め)	+1.2 °C (かなり高め)	+1.1 °C (かなり高め)

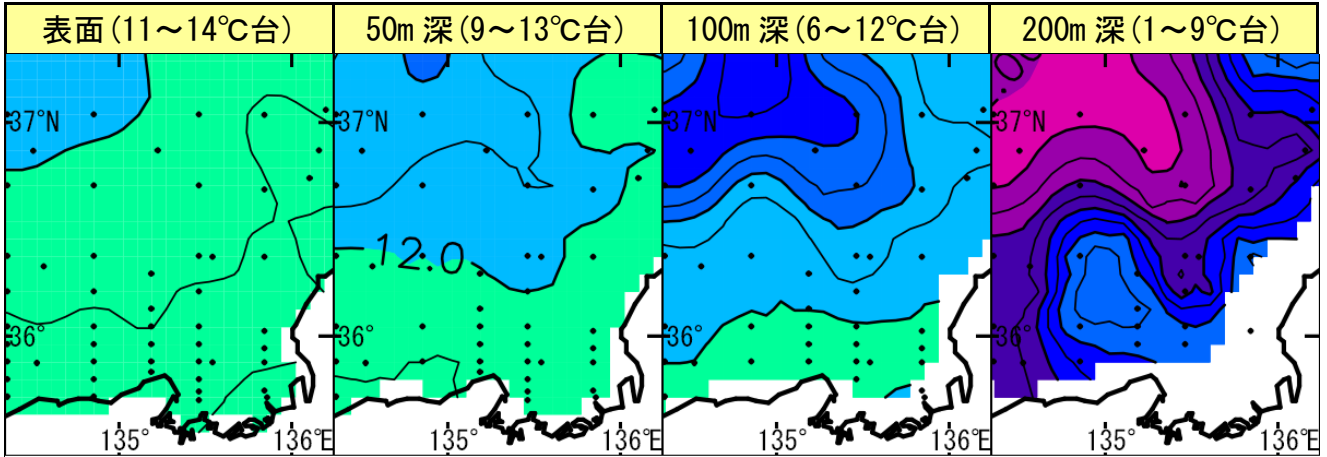
春 (3~5月) の天気まとめ	
京都北部周辺の平均気温	平年よりかなり高かった
京都北部周辺の降水量	平年よりかなり少なかった。

資料元: 気象庁

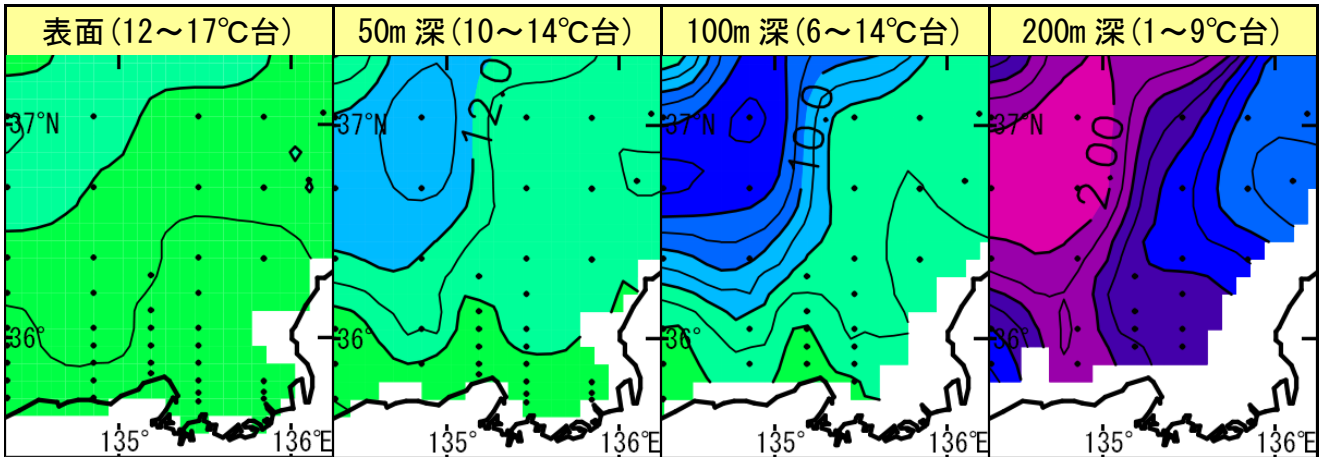
京都府周辺の各層水温(2016年4~6月)

4月上旬

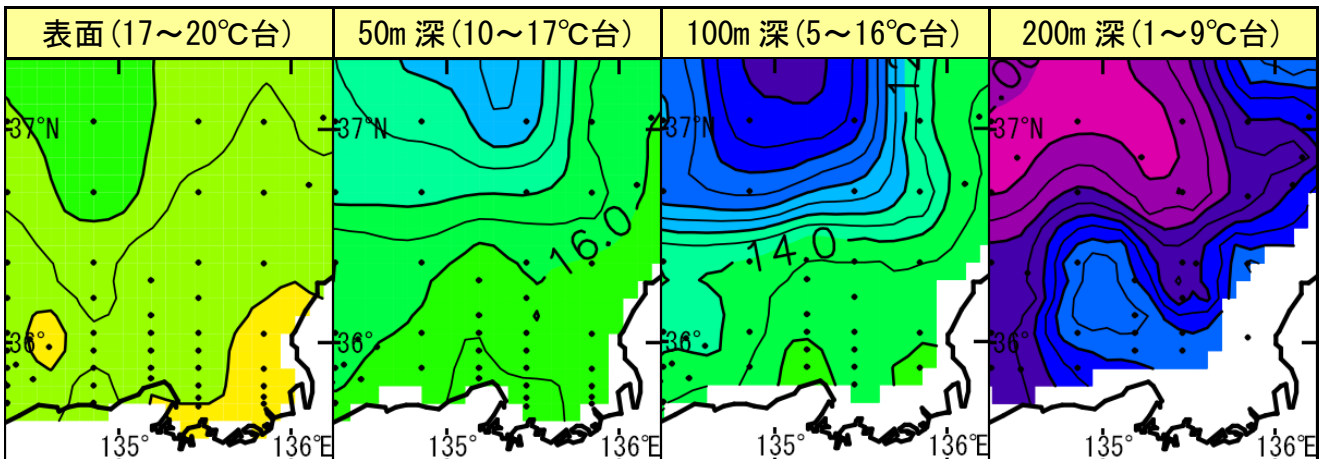
資料元：日本海区水産研究所



5月上旬



6月上旬



水温の色分け 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28°C

【今後の見込み】

資料元：気象庁

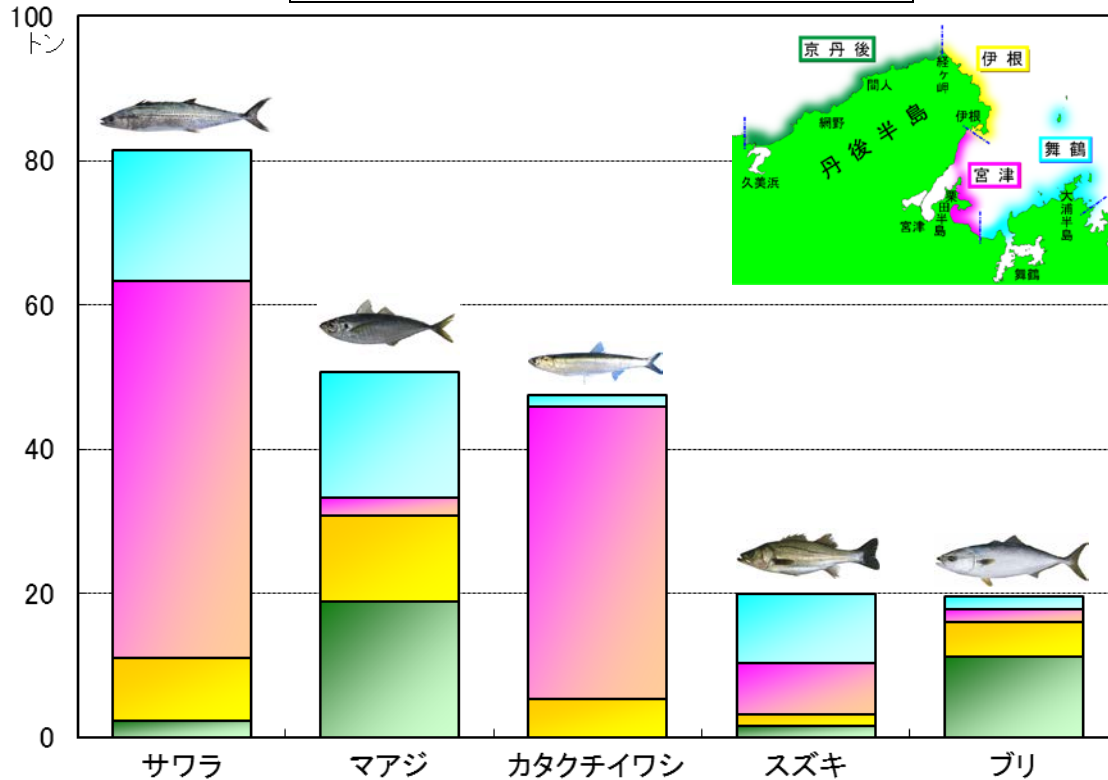
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年より高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年よりかなり強い」で推移する見込み

漁模様 2016年3~5月

《定置網漁業》【3月】

サワラ、スズキ、ブリが前年や平年の漁獲量を大きく上回った反面、マアジ、カタクチイワシ、マイワシが前年や平年の漁獲量を大きく下回りました。全体では平年の4割強（前年の5割強）と低調でした。

2016年3月の地域別漁獲量(上位5魚種)



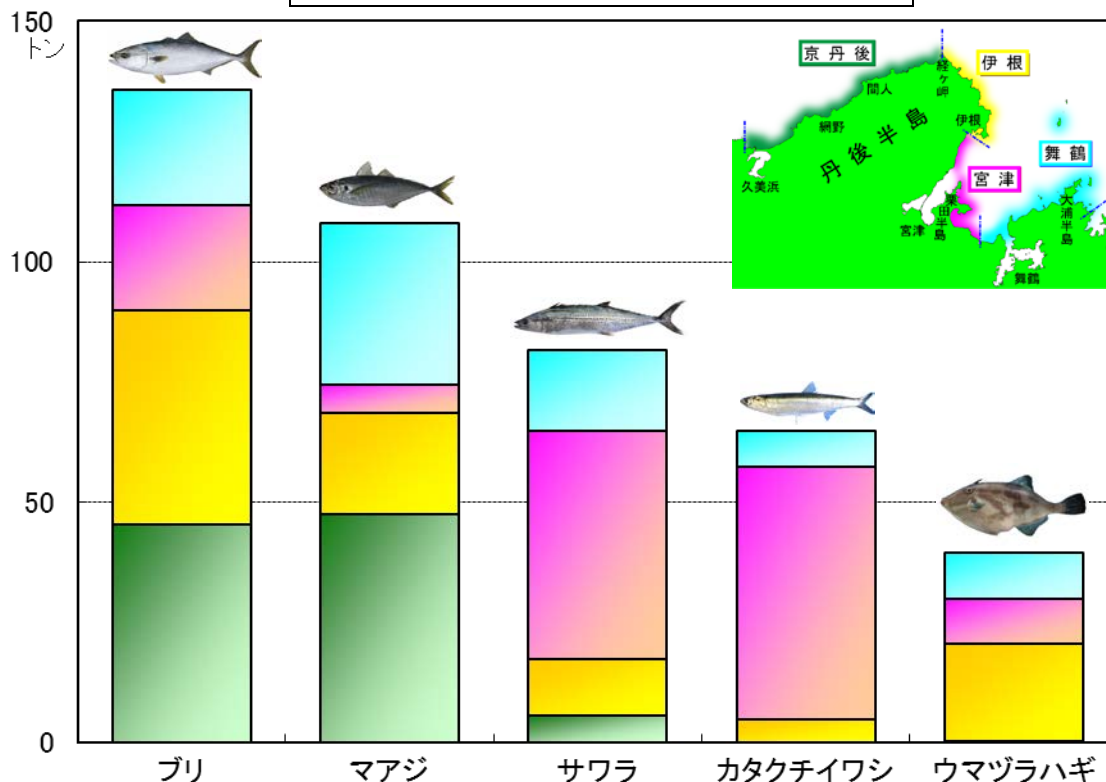
3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
サワラ	81.3	40.2 (202%)	66.7 (122%)	<サワラ> さごし銘柄(1.0kg未満)が6割強、さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が3割強、さわら大銘柄(体重3.0kg以上)は1割未満(1.7%)などでした。
マアジ	50.7	108.2 (47%)	81.5 (62%)	
カタクチイワシ	47.5	161.5 (29%)	318.5 (15%)	
スズキ	20.0	11.0 (181%)	8.8 (227%)	
ブリ	19.6	4.9 (402%)	6.0 (326%)	
マイワシ	14.7	195.7 (8%)	96.9 (15%)	<ブリ> はまち銘柄が4割弱、ぶり銘柄が3割強、まるご銘柄は2割強、つばす銘柄は1割未満でした。
イカ類	13.8	11.0 (126%)	31.9 (43%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	5.4	2.4 (226%)	13.4 (41%)	<マアジ> 体長は6cm~23cm台でした。
カレイ類	5.1	5.7 (88%)	2.3 (218%)	
マルアジ(青あじ)	4.8	2.6 (183%)	5.5 (88%)	<カタクチイワシ> 体長は4cm~11cm台でした。
その他	32.7	26.4 (124%)	72.6 (45%)	
合計	295.8	569.7 (52%)	704.0 (42%)	

平年は過去10年平均

【4月】

ブリが平年の3.4倍（前年の6.0倍）、ウマヅラハギが平年の6.2倍（前年の5.6倍）と好調でした。一方、カタクチイワシは平年の1割強（前年の8割弱）と低調でした。全体では平年の6割弱（前年の1.3倍）でした。

2016年4月の地域別漁獲量(上位5魚種)



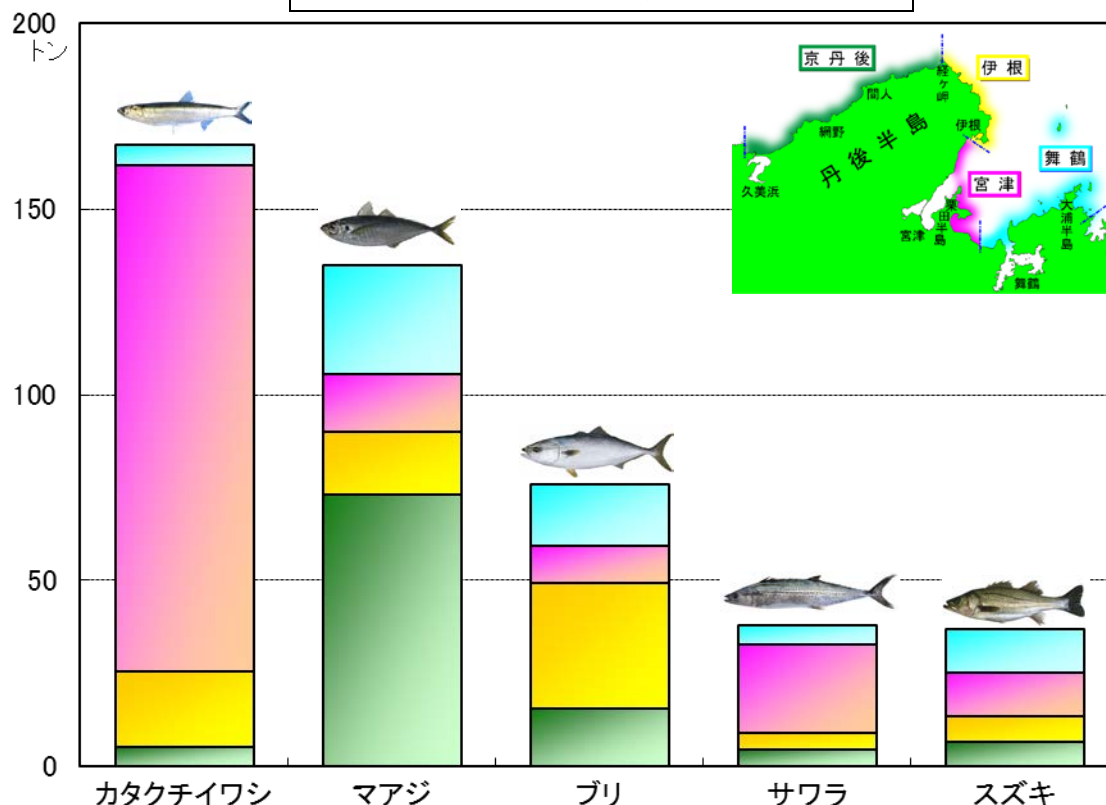
4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	135.7	22.7 (597%)	40.2 (338%)	<ブリ> はまち銘柄が4割弱、ぶり銘柄が3割弱、まるご銘柄は2割強、つばす銘柄は1割未満でした。
マアジ	107.9	165.1 (65%)	105.7 (102%)	
サワラ	81.6	28.7 (284%)	141.0 (58%)	
カタクチイワシ(たれ)	64.9	86.3 (75%)	505.0 (13%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	39.5	7.1 (559%)	6.4 (615%)	
スズキ	26.5	7.4 (357%)	13.3 (199%)	<サワラ> さごし銘柄(1.0kg未満)が7割弱、さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が3割弱、さわら大銘柄(体重3.0kg以上)は1割未満(1.1%)などでした。
イカ類	21.8	4.1 (533%)	28.9 (75%)	
タイ類	14.9	4.4 (339%)	8.4 (177%)	<カタクチイワシ> 体長は4cm~10cm台でした。
アカカマス	8.7	2.6 (338%)	5.0 (175%)	
マルアジ(青あじ)	4.7	3.2 (146%)	8.1 (57%)	
その他	34.6	73.3 (47%)	91.1 (38%)	
合計	540.7	404.9 (134%)	953.2 (57%)	

平年は過去10年平均

【5月】

スズキが平年の2.4倍（前年の2.7倍）と好調でした。一方、マアジは平年の6割強（前年の2割弱）、ブリは平年の3割（前年の5割弱）と低調でした。全体では平年の5割強（前年の5割）と低調でした。

2016年5月の地域別漁獲量(上位5魚種)

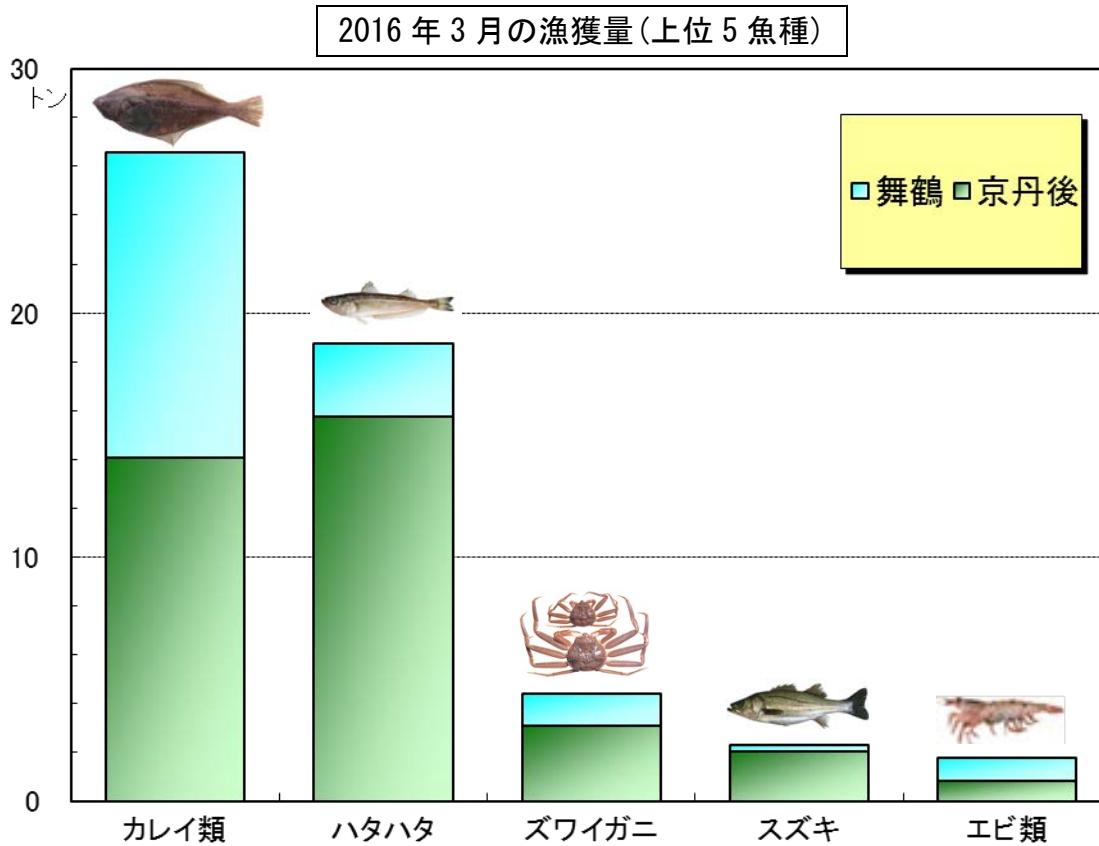


5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	167.4	63.4 (264%)	318.2 (53%)	<カタクチイワシ> 体長は4cm~10cm台でした。 <マアジ> 体長は3cm~22cm台でした。 <ブリ> ぶり銘柄が6割弱、はまち銘柄が2割強、まるご銘柄は2割弱、つばす銘柄は1割未満でした。 <サワラ> さごし銘柄(1.0kg未満)が8割強、さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が1割強、さわら大銘柄(体重3.0kg以上)は1割未満(1.9%)などでした。
マアジ	134.9	702.0 (19%)	220.7 (61%)	
ブリ	76.0	163.5 (46%)	249.5 (30%)	
サワラ	38.1	27.2 (140%)	57.4 (66%)	
スズキ	36.9	13.7 (270%)	15.7 (235%)	
トビウオ <small>(あご)</small>	15.0	11.2 (134%)	10.3 (146%)	
アカカマス	12.8	25.7 (50%)	12.1 (106%)	
イカ類	11.1	19.1 (58%)	21.4 (52%)	
タイ類	10.4	10.8 (96%)	10.2 (101%)	
ヒラマサ	6.7	5.1 (132%)	4.9 (135%)	
その他	29.3	39.1 (75%)	96.9 (30%)	
合計	538.5	1080.7 (50%)	1017.3 (53%)	

平年は過去10年平均

《底曳網漁業》【3月】

全体の水揚量は、平年の7割弱(前年の9割弱)でした。

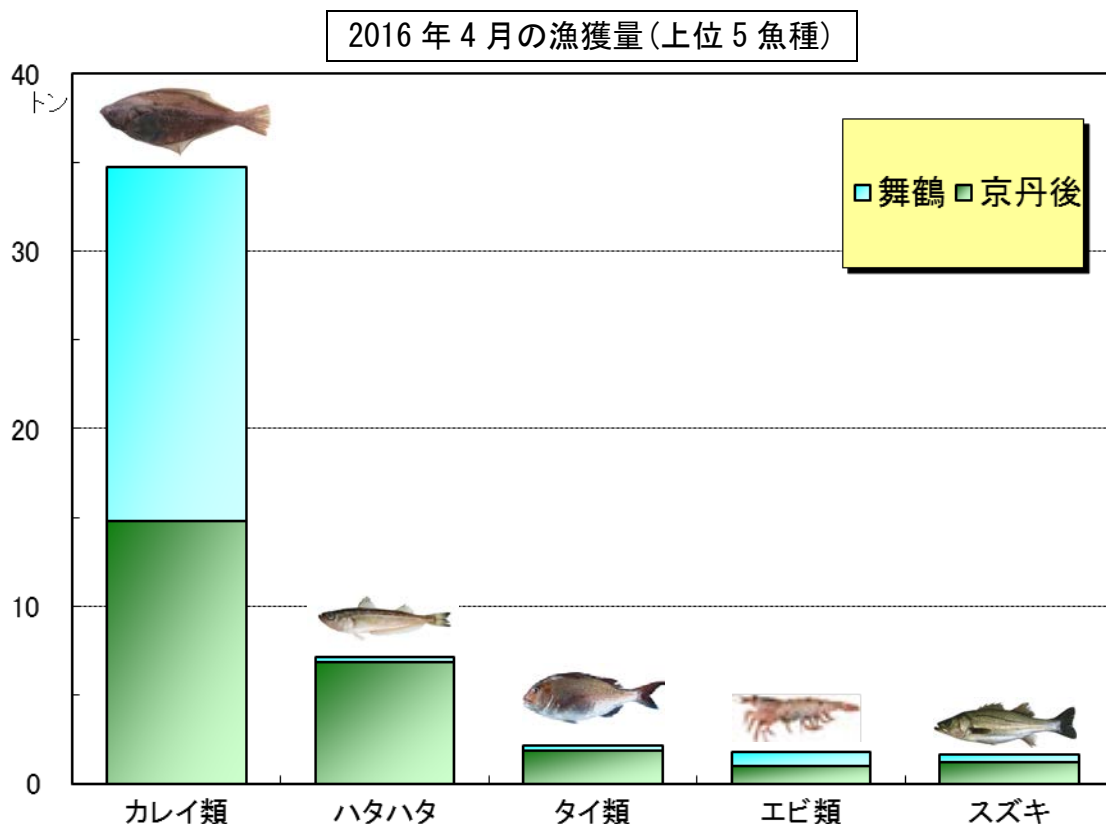


3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	26.6	40.6 (66%)	36.5 (73%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が17.7トン、クロガレイ(黒かれい)が4.3トン、ソウハチ(えてがれい)が3.6トンなどでした。
ハタハタ	18.7	14.5 (130%)	41.3 (45%)	
ズワイガニ	4.4	4.1 (107%)	4.4 (99%)	
スズキ	2.3	0.8 (283%)	0.8 (276%)	
エビ類	1.8	1.6 (109%)	1.1 (171%)	
タイ類	1.0	1.6 (63%)	2.0 (50%)	
タコ類	1.0	0.9 (107%)	0.9 (111%)	
タラ類	0.7	0.7 (108%)	0.3 (274%)	
ヒラメ	0.4	0.8 (53%)	0.5 (86%)	
アンコウ	0.4	0.8 (50%)	1.0 (39%)	
その他	5.9	6.2 (96%)	5.8 (101%)	
合計	63.3	72.6 (87%)	94.7 (67%)	

平年は過去10年平均

【4月】

全体の水揚量は、平年の7割（前年の9割弱）でした。

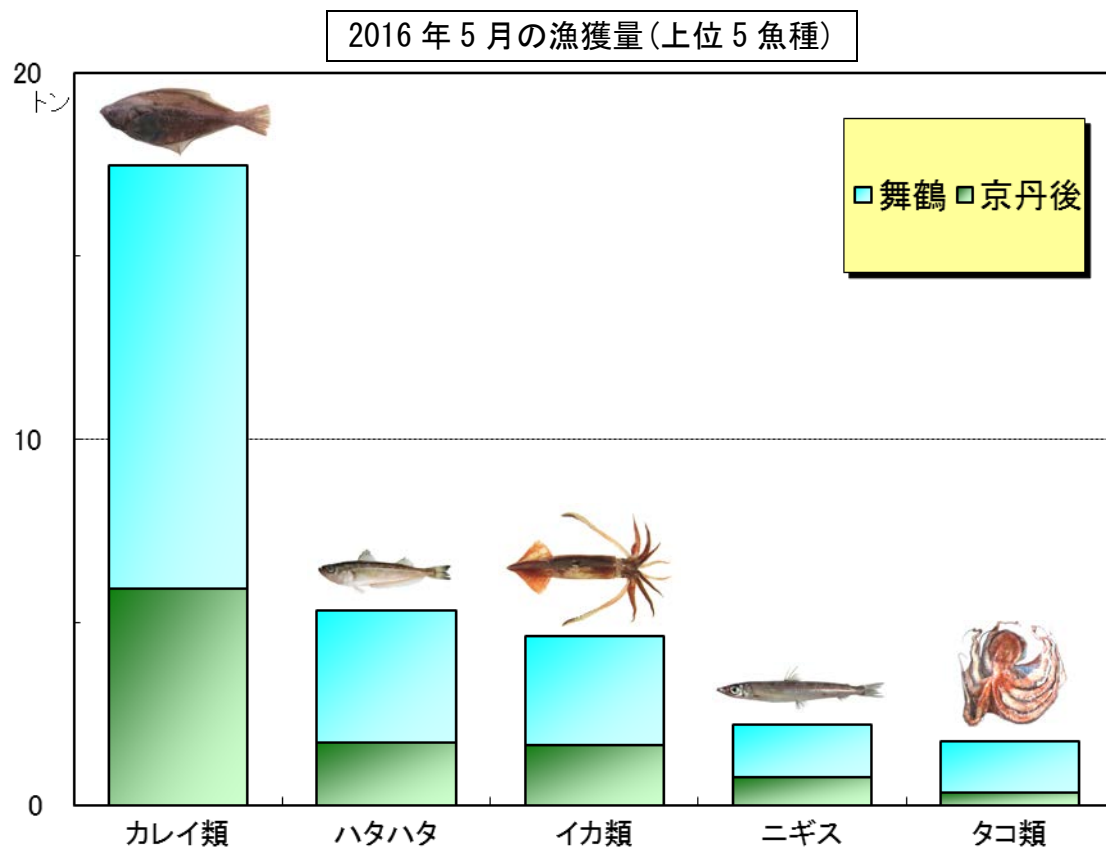


4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	34.7	49.5 (70%)	40.6 (85%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が 19.7 トン、ソウハチ(えてがれい)が 9.6 トン、クロガレイ(黒かれい)が 3.7 トンなどでした。
ハタハタ	7.2	8.9 (81%)	31.9 (23%)	
タイ類	2.2	1.7 (130%)	1.7 (130%)	
エビ類	1.8	1.6 (115%)	1.6 (115%)	
スズキ	1.7	0.5 (356%)	0.7 (224%)	
タコ類	1.5	1.3 (116%)	2.0 (74%)	
タラ類	1.2	0.9 (131%)	0.5 (240%)	
ヒラメ	1.2	0.4 (313%)	0.4 (267%)	
ニギス	0.8	0.4 (223%)	1.6 (52%)	
アンコウ	0.8	0.3 (221%)	1.5 (50%)	
その他	10.5	7.9 (132%)	7.5 (140%)	
合計	63.5	73.3 (87%)	90.2 (70%)	

平年は過去10年平均

【5月】

全体の水揚量は、平年の6割強（前年の8割強）と低調でした。



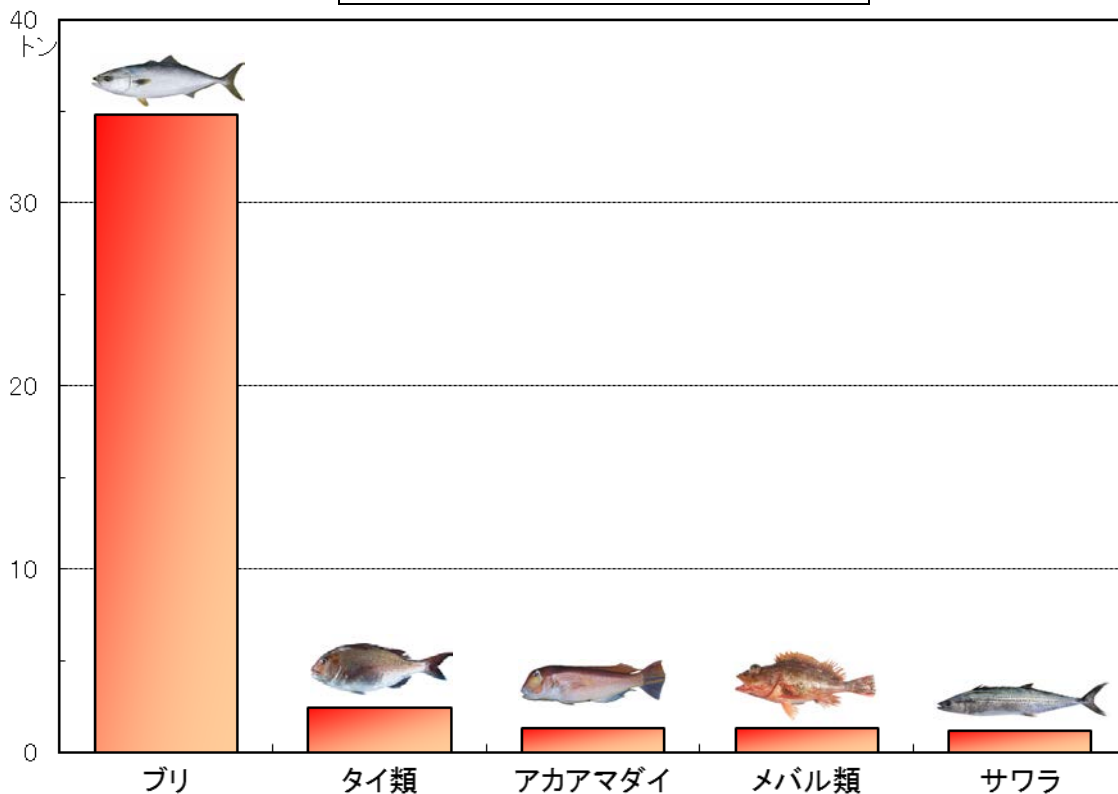
5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	17.5	21.4 (82%)	27.9 (63%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が 10.1 トン、ソウハチ(えてがれい)が 5.0 トン、クロガレイ(黒かれい)が 1.1 トンなどでした。
ハタハタ	5.3	15.5 (34%)	19.7 (27%)	
イカ類	4.6	4.5 (103%)	2.6 (178%)	
ニギス	2.2	0.4 (555%)	2.8 (80%)	
タコ類	1.8	1.4 (129%)	2.3 (76%)	
タイ類	1.7	0.4 (402%)	0.4 (416%)	
エビ類	1.1	0.5 (243%)	0.7 (155%)	
タラ類	0.7	0.8 (80%)	0.7 (92%)	
ヒラメ	0.6	0.3 (208%)	0.3 (213%)	
アンコウ	0.5	0.6 (88%)	1.4 (35%)	
その他	4.2	3.0 (141%)	5.0 (84%)	
合計	40.2	48.8 (82%)	63.8 (63%)	

平年は過去10年平均

《釣り・はえなわ漁業》【3月】

全体の水揚量は、平年の2.9倍（前年の2.3倍）と好調でした。

2016年3月の漁獲量(上位5魚種)



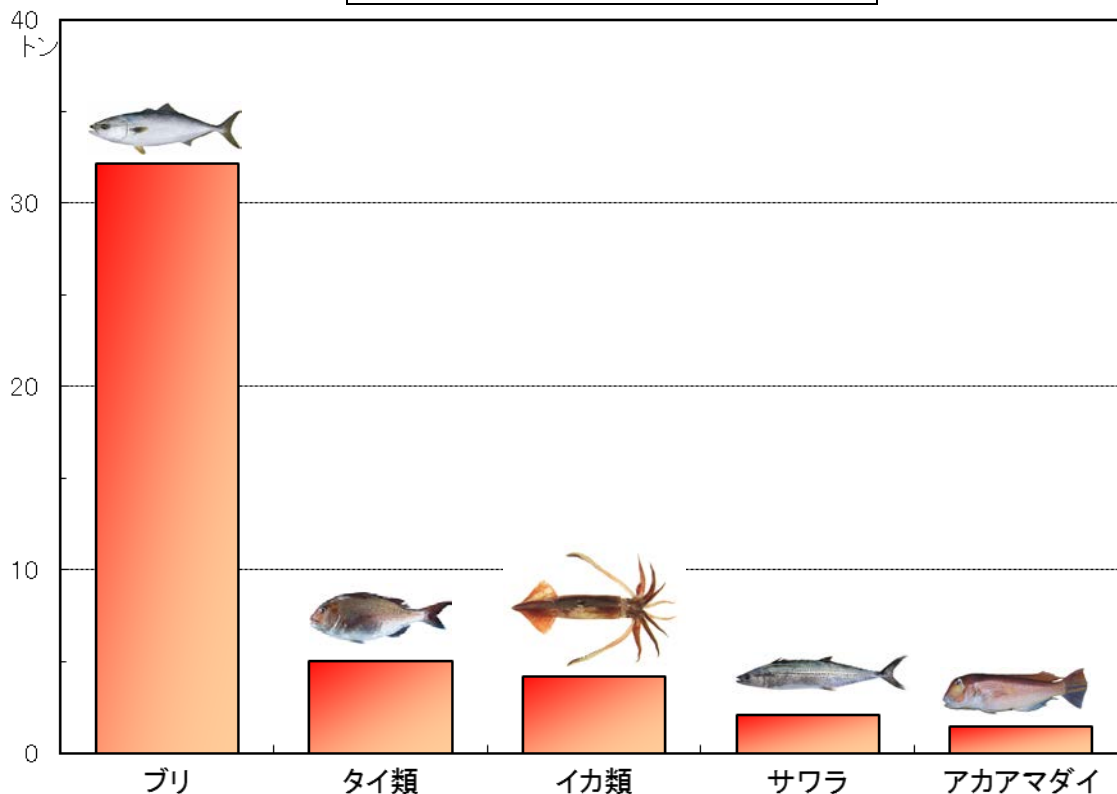
3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	34.8	5.3 (65%)	6.0 (58%)	<ブリ> まるご銘柄が5割強、つばす銘柄が3割弱、はまち銘柄が1割強、ぶり銘柄は1割弱でした。
タイ類	2.4	4.3 (56%)	1.2 (19%)	
アカアマダイ(ぐじ)	1.4	1.7 (81%)	0.9 (15%)	
メバル類	1.3	2.0 (67%)	1.0 (13%)	
サワラ	1.2	3.5 (35%)	3.8 (31%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.5	0.1 (53%)	0.1 (47%)	<タイ類> マダイが約8割、キダイ(れんこ鯛)が2割弱などでした。
マルアジ(青あじ)	0.2	0.4 (55%)	0.2 (80%)	
ハウボウ	0.2	0.1 (12%)	0.1 (15%)	<サワラ> さごし銘柄(体重1.0kg未満)が9割弱、さわら銘柄(体重1.0kg以上3kg未満)が1割強、さわら大銘柄(体重3kg以上)が1割未満(0.9%)などでした。
ヒラマサ	0.1	0.1 (22%)	0.0 (32%)	
カレイ類	0.1	0.2 (52%)	0.2 (63%)	
その他	1.3	1.2 (106%)	1.7 (76%)	
合計	43.4	18.7 (232%)	15.2 (285%)	

平年は過去10年平均

【4月】

全体の水揚量は、平年の1.5倍（前年の1.9倍）と好調でした。

2016年4月の漁獲量(上位5魚種)



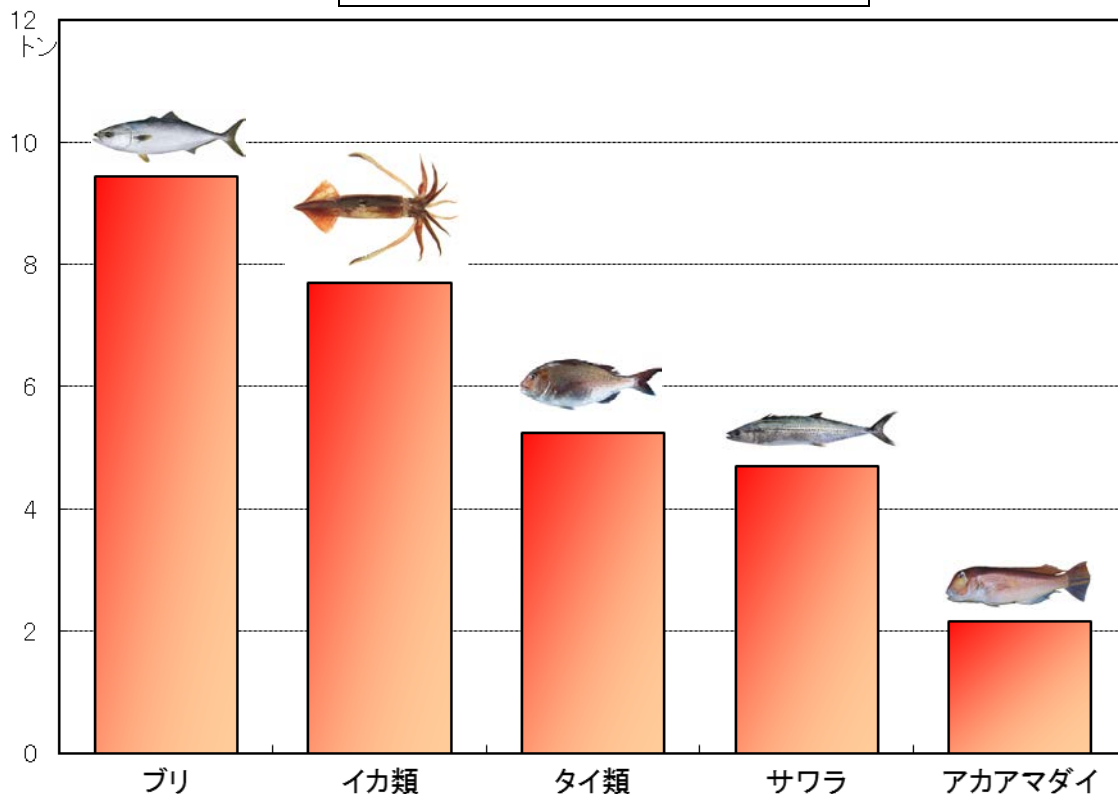
4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	32.1	10.7 (301%)	16.8 (192%)	<ブリ>
タイ類	5.0	3.3 (152%)	3.2 (158%)	まるご銘柄が5割強、つばす銘柄とぶり銘柄が2割弱、はまち銘柄が1割強でした。
イカ類	4.2	3.0 (139%)	2.7 (153%)	<タイ類>
サワラ	2.1	4.0 (52%)	4.3 (48%)	マダイが8割弱、キダイ(れんこ鯛)が1割強などでした。
アカアマダイ(ぐじ)	1.5	1.4 (107%)	0.9 (157%)	<イカ類>
メバル類	0.8	1.6 (53%)	1.3 (63%)	ほぼ全てスルメイカでした。
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.3	0.1 (236%)	0.1 (195%)	<サワラ>
ヒラマサ	0.2	0.2 (87%)	0.1 (168%)	さごし銘柄(体重 1.0kg 未満)が9割強、さわら銘柄(体重 1.0kg 以上 3kg 未満)が1割弱、さわら大銘柄(体重 3kg 以上)が1割未満(0.1%)などでした。
スズキ	0.2	0.1 (138%)	0.6 (29%)	
カレイ類	0.1	0.1 (73%)	0.1 (71%)	
その他	0.8	0.8 (106%)	1.9 (44%)	
合計	47.4	25.4 (186%)	32.2 (147%)	

平年は過去10年平均

【5月】

全体の水揚量は、平年の9割強（前年の9割強）でした。

2016年5月の漁獲量(上位5魚種)



5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考	
ブリ	9.4	9.7 (97%)	11.7 (80%)	<ブリ> ぶり銘柄が6割強, まるご銘柄が2割強, はまち銘柄とつばす銘柄が1割未満でした。	
イカ類	7.7	14.1 (55%)	11.0 (70%)		
タイ類	5.2	4.3 (122%)	3.1 (170%)		
サワラ	4.7	2.3 (202%)	3.8 (123%)		
アカアマダイ	2.2	2.5 (88%)	1.6 (139%)		
メバル類	2.0	1.5 (133%)	1.6 (125%)	<イカ類> ほぼ全てスルメイカでした。	
ウマヅラハギ	0.4	0.0 (898%)	0.1 (744%)	<タイ類> マダイが8割弱, キダイ(れんこ鯛)が2割弱などでした。	
スズキ	0.2	0.1 (253%)	0.5 (43%)		
タチウオ	0.2	0.1 (128%)	0.2 (89%)		
カワハギ	0.1	0.0 (436%)	0.0 (373%)	<サワラ> ほぼ全てさごし銘柄でした。	
その他	1.5	2.4 (65%)	3.0 (51%)		
合計	33.6	37.0 (91%)	36.6 (92%)		

平年は過去10年平均